

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1210号	氏名	有馬 和彦
論文審査担当者		主査教授	江口 勝美
		副査教授	丹羽 正美
		副査教授	森田 公一
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は感染細胞におけるプリオン株産生分子機構を解析したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価 マウスプリオン株の持続感染細胞を樹立、継代培養し、生物学的特徴である固有の潜伏期間、特徴的臨床症状、病理学的所見プロファイルを解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価 プリオン病病原体は培養細胞で長期継代後も変わることなく、株固有の生物学的特徴と異常型プリオン蛋白の生化学的性状が保持されていることを明らかにし、今後の伝達性海綿状脳症(プリオン病)研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文はプリオン病における病原体の解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。